

# ——ソフト開発における“人材危機”を乗り越える——

## ITSSとETSS、ISSSの最新動向と 人材育成最前線



ITSS(ITスキル標準)やETSS(組込みスキル標準)の改訂、ISSS(情報システム・スキル標準)の策定、情報処理技術者試験の新設・改革の提案、産学協同のIT教育の活発化、経団連が後押しする高度人材育成のためのIT専門職大学院設立 今ほどソフトウェア開発エンジニアの育成が議論になったことはありません。

この動きの背景には何があるのか、これからの人材育成策はどうあるべきか。本セミナーでは、激しく変化する業界の動向をとらえるとともに、エンジニアのスキルを可視化する診断ツール「ITSS-DS」を活用した現場の着実な人材育成策を解説します。さらに、各種スキル標準を具体的にどう使っていけばよいのか、診断ツールのITSS-DSやETSS-DSを利用するときによく直面する問題は何か、など聴講者の方から寄せられた質問に多角的にお答えします。

### 開催概要

会期	4月26日(水)13:00~17:15(予定) [開場 12:30]
会場	東京コンファレンスセンター(千代田区飯田橋)
主催	ITスキル研究フォーラム(iSRF)
受講料金	10,000円(税込み) 「日経コンピュータ」13冊購読付き 現在ご購入中の方の期間延長はできません。 別途お届け先をご指定ください。 お届け先はご参加者と異なっても構いません。

**満席のためセミナー受付は終了しました。今後ともITスキル研究フォーラムをよろしくお願いいたします。**

### プログラム

13:00~ 14:00	<p><b>【基調講演】</b> <b>各種スキル標準の改訂・策定の狙いと今後の展開</b> 経済産業省商務情報政策局 情報処理振興課長 鍛治克彦氏</p> <p>ETSS(組込みスキル標準)の改訂、ISSS(情報システム・スキル標準)の策定など、エンジニアのスキル標準が今春、大幅に充実します。ITSS(ITスキル標準)も2.0版へと大きく改訂されます。本講演では経産省の問題意識をベースにしながら、各スキル標準の関係や今後の展開を、情報処理技術者試験など他のIT施策と併せて語ります。</p>
14:00~ 14:40	<p><b>【導入事例(1)】</b> <b>事業戦略に基づくキャリアプラン策定と人材育成</b> NEC航空宇宙システム 経営管理部 主任 石島孝典氏</p> <p>NEC航空宇宙システム(NAS)は、3年前からITSS(ITスキル標準)を技術者育成に活用しています。ITSS-DSを活用し、ITスキル標準をベースに独自の「宇宙プロジェクトマネジメント」、「衛星スペシャリスト」職種を追加した「NAS-ITSS」を構築。さらに、キャリアパスの策定や社内認定制度の導入を行ってきました。事業戦略に連動した人材育成を現場でどのように実践しているかを発表します。</p>
14:40~ 15:00	休憩
15:00~ 15:40	<p><b>【導入事例(2)】</b> <b>ITSSで3Kをなくす</b> コガソフトウェア 代表取締役 古賀 詳二氏</p> <p>日本のIT産業、特に中小システム・インテグレータは、ITエンジニアの労働負荷増大と人件費単価削減という大きな悩みを抱えています。これを打開するには一人ひとりの生産性を上げなければなりません。このためコガソフトウェアは資格取得を推奨し、賃金にも反映させてモチベーションを高めています。ただし、コミュニケーション・スキルなどは評価できないままでした。そこで、この見えない部分を可視化し、個人個人の長所や短所を把握するために、ITSSを利用しました。ITSSと診断システムITSS-DSの活用方法について具体</p>

的に提示します。

15:40 ~  
17:15

【Q&A パネルディスカッション】

## 人材育成の悩みと疑問に答える

IT スキル標準センター長 小川 健司氏  
ITSS ユーザー協会 専務理事  
スキルスタンダード研究所 代表取締役 高橋 秀典氏  
ラーニング・アーキテクチャ研究所 代表取締役 宮沢 修二氏  
モデレーター:日経コンピュータ編集長 田口潤

聴講者の方々から、事前にお寄せいただいた疑問、質問に対し、ITSS や人材育成制度の専門家がパネルディスカッションの形式で回答します。例えば、ITSS の導入は何から手をつければいいのか？ 人事制度と関係させるべきか？ うまく導入しているケースはどのようなものか？ といった質問を想定しています。申し込みサイトから、あなたの疑問 / 質問をぜひご記入ください。

【お問い合わせ】

IT スキル研究フォーラム (iSRF) 事務局  
(株)日経 BP マーケティング [isrf@nikkeibp.co.jp](mailto:isrf@nikkeibp.co.jp)  
(お問い合わせは、上記へメールにてお願いします。)

講演者や講演時間などプログラムは変更になる場合がございます。予めご容赦ください。